

農業用ドローンによる水稲除草剤（豆つぶ剤）の省力的散布方法

1. 背景・目的

水稲栽培において、農業用ドローン（Agras T10、Agras T25、T10K、T25K）で、自己拡散型製剤の豆つぶ剤（クミアイ化学工業株が開発した粒状の農薬）を散布することで、超省力的な除草方法を開発しました。



2. 内容

- 豆つぶ剤を農業用ドローンで散布したところ、**往復散布（図1）で3.5分/ha**（うち、散布時間1.0分/ha）、**片道散布（図2）で3.2分/ha**（うち、散布時間0.4分/ha）で散布可能なことが分かりました（図3）。

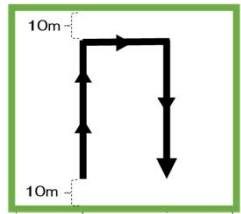


図1 往復散布の散布経路

- 往復散布**
飛行速度：15.0km/h
シャッター開度：50.0%
インペラ回転数：600rpm
散布高度：2.5m

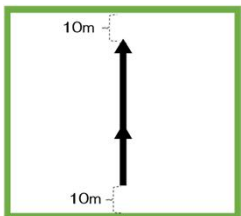


図2 片道散布の散布経路

- 片道散布**
飛行速度：15.0km/h
シャッター開度：70.0%
インペラ回転数：600rpm
散布高度：2.5m

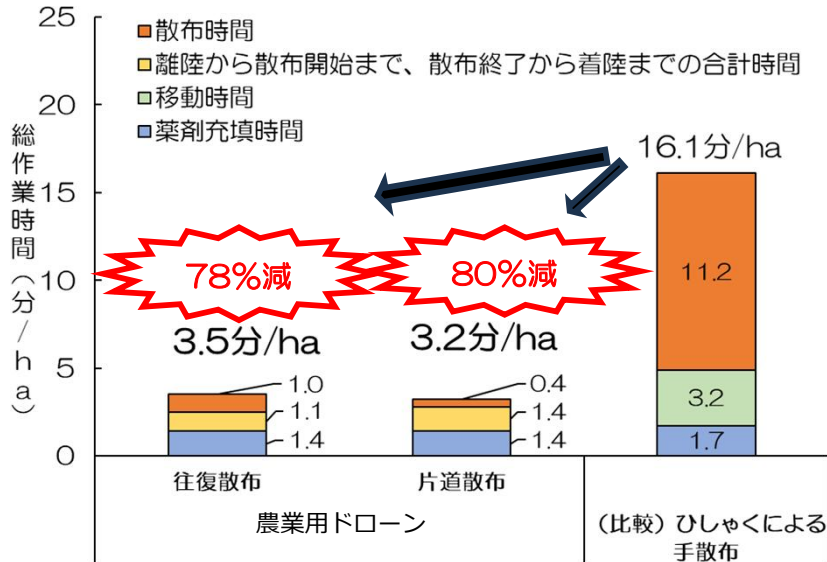


図3 各散布方法の作業時間

- 除草効果は安定して得られ、水稲の薬害はみられませんでした。
- 農林総合研究所のホームページで「**土地利用型作物における農業用ドローンを利用した省力的な散布マニュアル**（図4、QR1）」も公開しております。ぜひご活用ください。



3. その他

- 農業用ドローンにより農薬を散布する際は、「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係るガイドライン（QR2）」、「無人航空機飛行マニュアル（QR3）」を確認してください。



QR 3

図4 ドローン散布マニュアル

